

風水害対策（災害の種類）

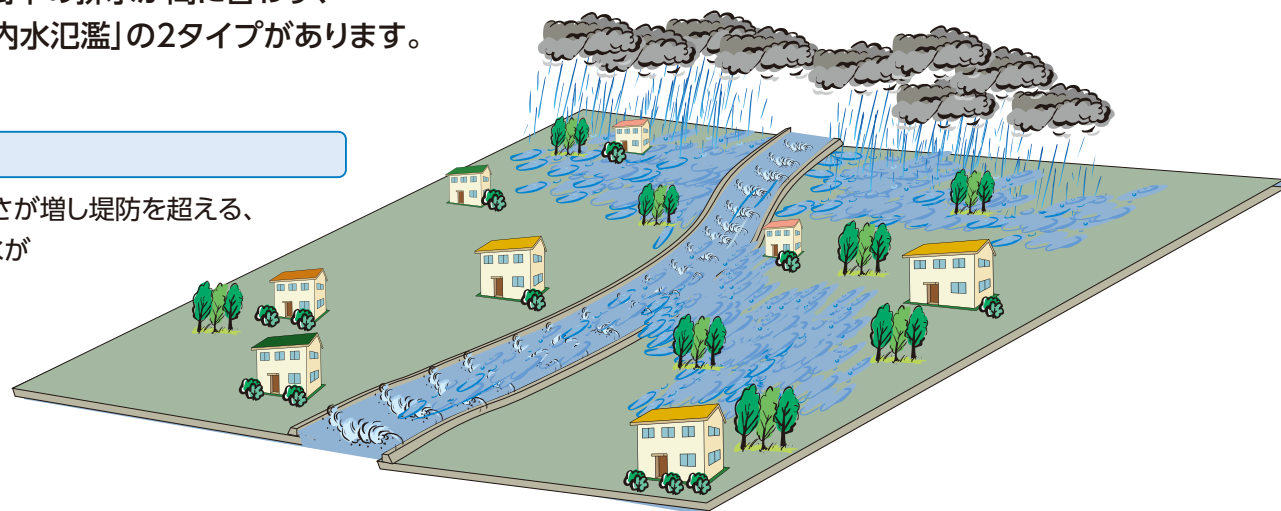
大雨などにより、川の水量の増加や地中にしみこんだ水分などが起因となり、大きな災害に発展する場合があります。事前にその災害のメカニズムを理解し、身近に起こりえる災害に対応しましょう。

川の氾濫等

雨量の増加によってもたらされる氾濫には、川から水があふれたり堤防が決壊して起こる「外水氾濫」と、街中の排水が間に合わず、地下水路などからあふれ出す「内水氾濫」の2タイプがあります。

外水氾濫

大雨の水が川に集まり、川の水かさが増し堤防を超える、あるいは堤防を決壊させて川の水が外にあふれておきる洪水。氾濫が起きると一気に水かさが増しますので、最大の注意が必要。



内水氾濫

その場所に降った雨水や、周りから流れ込んできた水がはけきれず溜まって起きる洪水。的確なタイミングで警報や避難指示を出すのが難しいため、注意が必要。



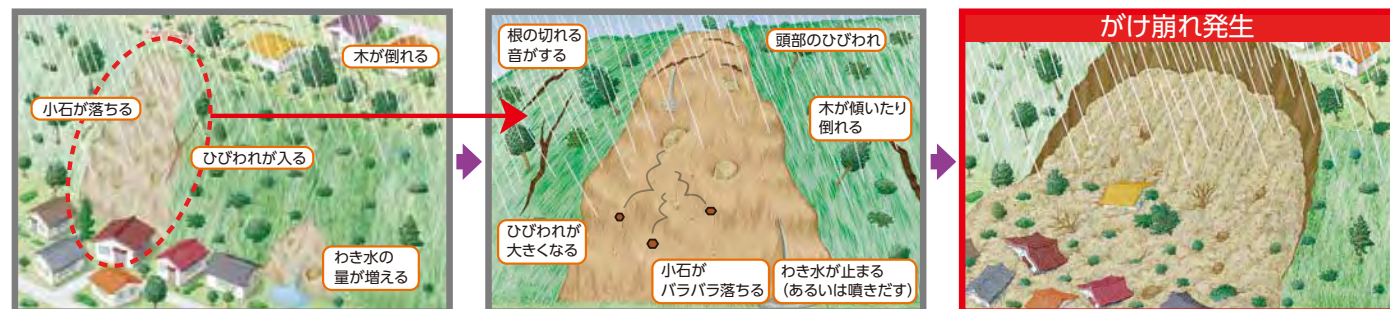
土砂災害

土砂災害警戒情報が発表されてなくても、ふだんと異なる状況「土砂災害の前兆」に気付いた場合には、直ちに周りの人と安全な場所へ避難するとともに、市役所などの関係機関に連絡してください。日ごろから危険箇所や避難場所・避難経路を確認しておくことも重要です。

※下記は一般的な前兆現象です。すべての場合において必ず起きるというものではありません。ふだんと違い、少しでも身に危険を感じたら避難するようにしましょう。

がけ崩れ

地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。がけ崩れは突然起きるため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く、被害者の割合も高くなっています。



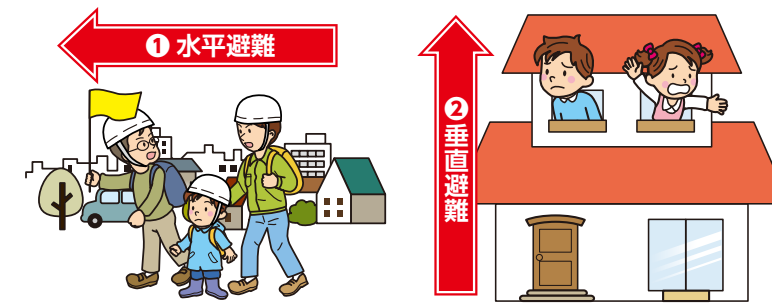
地すべり

斜面の一部あるいは全部が、地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいいます。一般的に移動土壌量が大きいので、甚大な被害を及ぼします。また一旦動き出すと、これを完全に停止させることは非常に困難です。



避難行動のポイント

1. 左ページの川の氾濫や土砂災害の事象に注意し、早めの避難をする。
2. がけ崩れの起こる方向に対して横方向に避難（水平避難）する。
3. 夜中や大雨の中など外へ避難を行うのが危険と感じる時は、自宅2階以上の山やがけの反対側の部屋など堅固な建物の上階へ避難（垂直避難）することも考慮しましょう。
4. 記録的短時間大雨情報が発表された場合は、早めに避難を行う。
5. 土砂災害警戒情報が発表された場合は、すぐに避難を行う。



避難に関する情報の確認

市からの避難に関する情報は、避難する時期を判断するために重要な情報です。情報の内容や入手方法を事前に確認しておきましょう。

市から伝達される避難に関する情報の種類

警戒レベル	行動を促す情報	住民が取るべき行動
高 5	緊急安全確保	災害発生又は切迫している状況。 命の危険、直ちに安全確保。
~~~~~＜警戒レベル4までに必ず避難＞~~~~~		
4	避難指示	災害のおそれが高い状況。 危険な場所から全員避難。
3	高齢者等避難	災害のおそれあり。 危険な場所から高齢者等は避難。

※土砂災害警戒情報（大雨警報（土砂災害））が発表されている状況で、土砂災害発生の危険度が非常に高まった時に発表される防災情報が発表された場合は、避難指示を発令いたします。

### 情報の入手方法

市からは避難に関する情報が様々な方法で発信されます（防災ラジオ・フェイスブック・市ホームページ・情報メール一斉配信サービス（※裏表紙参照）など）。事前に伝達方法を確認しておきましょう。

### 過去の水害について

#### カスリーン台風による大雨と利根川の洪水

昭和22年9月、日本列島に停滞していた前線が台風（カスリーン台風）の接近により活発化し、関東地方一帯に豪雨をもたらしました。利根川でも9月15日未明から16日にかけて約7.5m（栗橋）もの急激な水位の上昇を示しました。

#### 鶴戸の堤防決壊と氾濫

坂東市（旧中川村）では、おりから工事中だった鶴戸付近（現在の鶴戸沼排水機場付近）の堤防で決壊のおそれがあったため、懸命な水防活動にあたりましたが、夜10時40分、ついに堤防が約250mにわたって決壊し、長須地区及び中川地区の一部が、集落の屋根のみを残して水没する大災害となりました。決壊の直前、付近の住民は堤防に駆け上がり難を逃れましたが、残念ながら一人の少年が濁流に飲まれ、行方不明となってしまいました。

## 雪害対策

### 家庭の雪対策

- 物流の混乱に備え、水・食料などの備蓄（できれば7日分）
- 停電に備えて、暖房対策（使い捨てカイロなど）、予備電池、懐中電灯、携帯ラジオなど
- 断水に備えて、水をためておく
- 積雪・凍結に備え、通路や階段など滑りやすい場所に凍結防止剤などを事前散布
- スコップ、凍結防止剤などの除雪用具
- 不要不急の外出は極力控える、どうしても外出する場合は、平時の3倍の時間がかかるとして、ゆとりをみて出かける
- 早期除雪は自助と共助（隣近所の人たち）で力を合わせて行う



### 凍結や滑りやすい場所～こんなところにも注意！

日陰の坂道、日陰の歩道

橋、歩道橋、階段

マンホール

人通りの少ない裏通り

雪よせ路肩と歩道の間

車庫、自転車置き場

など